

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	1
------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 33' 28.1"	起点側	緯度	35° 33' 28.3"	橋梁ID	35.55781,139.65822
	経度	139° 39' 29.6"		経度	139° 39' 29.1"		

フリガナ 橋梁名	シャクジンバシ 石神橋	路線名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
-------------	----------------	-----	---------	-----	------------------	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	主桁	Mg	01	e	d	うき											⑦その他(品質の経年劣化)	I	うきがある。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	主桁	Mg	01	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他(防水・排水工不良)	I	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	主桁	Mg	06	c	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他(品質の経年劣化)	I	剥離のみが生じている。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	横桁	Cr	00	c	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他(品質の経年劣化)	I	剥離のみが生じている。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	横桁	Cr	00	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他(品質の経年劣化)	I	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	横桁	Cr	00	c	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他(防水・排水工不良)	I	剥離のみが生じている。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	横桁	Cr	01	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他(品質の経年劣化)	I	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。状況に応じて補修を行う必要がある。

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	1
------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 33' 28.1"	起点側	緯度	35° 33' 28.3"	橋梁ID	35.55781,139.65822
	経度	139° 39' 29.6"		経度	139° 39' 29.1"		

フリガナ 橋梁名	シャクジンバシ 石神橋	路線名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
-------------	----------------	-----	---------	-----	------------------	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
S	C	床版	Ds	01	e	e	漏水・遊離石灰											⑦その他(防水・排水工不良)	I	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰が生じている。または漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。状況に応じて補修を行う必要がある。
S	C	床版	Ds	00	d	d				床版ひびわれ								⑦その他(施工不良)	Ⅲ	床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られた。橋面からの漏水も確認され、橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
S	C	床版	Ds	00	c	c				補修・補強材の損傷								⑦その他(防水・排水工不良)	Ⅲ	〃
A	C	胸壁	Ap	01	e	e	漏水・滞水											⑦その他(防水・排水工不良)	I	漏水が見られる。or 内部に滞水が見られる。状況に応じて補修を行う必要がある。
A	C	縦壁	Ac	01	e	e	漏水・滞水											⑦その他(防水・排水工不良)	I	漏水が見られる。or 内部に滞水が見られる。状況に応じて補修を行う必要がある。
A	C	縦壁	Ac	01	e	e					その他(不法占有)							⑦その他(環境的要因)	Ⅱ	橋台付近に不法占有が見られた。維持工事による対応が必要である。
P	C	柱部・壁部	Pw	02	d	d	ひびわれ											⑦その他(品質の経年劣化)	I	0.3mm程度、最小ひびわれ間隔が0.5m以上である。状況に応じて補修を行う必要がある。

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)				径間番号	2	起点側	緯度	35° 33' 28.1"	起点側	緯度	35° 33' 28.3"	橋梁ID	35.55781,139.65822
							経度	139° 39' 29.6"		経度	139° 39' 29.1"		

フリガナ 橋梁名	シャクジンバシ 石神橋				路線名	鶴見、溝の口線				管理者	川崎市中原区役所道路公園センター			橋梁コード	9
-------------	----------------	--	--	--	-----	---------	--	--	--	-----	------------------	--	--	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果				
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等	
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
													区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
S	C	床版	Ds	00	d	d			漏水・遊 離石灰										⑦その他(施 工不良)	Ⅲ	床版に遊離石灰を伴うひびわれ が見られた。橋面からの漏水も 確認され、橋梁構造の安全性の 観点から、速やかに補修等を行 う必要がある。
S	C	床版	Ds	00	c	c			補修・補 強材の 損傷										⑦その他(防 水・排水工 不良)	Ⅲ	〃
P	C	柱 部・ 壁部	Pw	02	d	d	ひびわ れ												⑦その他(品 質の経年劣 化)	I	0.3mm程度、最小ひびわれ間隔 が0.5m以上である。状況に応じ て補修を行う必要がある。
P	C	柱 部・ 壁部	Pw	02	d	d	漏水・遊 離石灰												⑦その他(防 水・排水工 不良)	I	ひびわれから遊離石灰が生じて いる。錆汁はほとんど見られな い。状況に応じて補修を行う必 要がある。

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)			径間番号	3	起点側	緯度	35° 33′ 28.1″	起点側	緯度	35° 33′ 28.3″	橋梁ID	35.55781,139.65822
						経度	139° 39′ 29.6″		経度	139° 39′ 29.1″		

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋			路 線 名	鶴見、溝の口線			管理者	川崎市中原区役所道路公園センター			橋梁コード	9
---------------	----------------	--	--	-------	---------	--	--	-----	------------------	--	--	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等	
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
S	C	床版	Ds	00	e	e			漏水・遊 離石灰									⑦その他(施 工不良)	Ⅲ	床版に遊離石灰を伴うひびわれ が見られた。橋面からの漏水も 確認され、橋梁構造の安全性の 観点から、速やかに補修等を行 う必要がある。
S	C	床版	Ds	00	c	c			補修・補 強材の 損傷									⑦その他(防 水・排水工 不良)	Ⅲ	〃

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	1
---	---------	---

起点側	緯度	35° 33′ 28.1″	起点側	緯度	35° 33′ 28.3″	橋梁ID	35.55781,139.65822
	経度	139° 39′ 29.6″		経度	139° 39′ 29.1″		

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋	路 線 名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
---------------	----------------	-------	---------	-----	------------------	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	S	支承 本体	Bh	00	c	c		腐食											Ⅱ	軽微な腐食が広範囲にみられる。予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
B	S	支承 本体	Bh	00	e	e		防食機能の劣化											Ⅱ	防食機能の劣化範囲が広く、点錆が発生している。予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
B	S	アン カー ボルト	Ba	00	c	c		変形・欠損											Ⅱ	アンカーボルトに欠損が見られた。予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
R	C	地覆	Fg	00	e	e	うき												Ⅰ	うきがある。状況に応じて補修を行う必要がある。
R	R	伸縮 装置	Ej	00	e	e					土砂詰まり								Ⅱ	土砂詰まりがある。維持工事で対応する必要がある。
R	A	舗装	Pm	00	e	e			舗装の異常										Ⅲ	5mm以上のひびわれ or 床版の土砂化が懸念される。橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
D	S	排水 ます	Dr	00	c	c	腐食												Ⅰ	軽微な腐食が広範囲にみられる。状況に応じて補修を行う必要がある。

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 33′ 28.1″	起点側	緯度	35° 33′ 28.3″	橋梁ID	35.55781,139.65822
				経度	139° 39′ 29.6″		経度	139° 39′ 29.1″		

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋			路 線 名	鶴見、溝の口線		管理者	川崎市中原区役所道路公園センター		橋梁コード	9
---------------	----------------	--	--	-------	---------	--	-----	------------------	--	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等	
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
D	S	排水 ます	Dr	00	e	e	防食機 能の劣 化												I	床版の劣化に伴い舗装に損傷 が現れたと推定され、橋梁構造 の安全性の観点から、速やかに 補修等を行う必要がある。

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	2
---	---------	---

起点側	緯度	35° 33′ 28.1″	起点側	緯度	35° 33′ 28.3″	橋梁ID	35.55781,139.65822
	経度	139° 39′ 29.6″		経度	139° 39′ 29.1″		

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋	路 線 名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
---------------	----------------	-------	---------	-----	------------------	-------	---

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	S	支承 本体	Bh	00	c	c		腐食											II	軽微な腐食、防食機能の劣化が 見られる。予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要 がある。
B	S	支承 本体	Bh	00	e	e		防食機 能の劣 化											II	〃
U	S	添架物	Ut	00	d	d	腐食												I	著しい腐食が局部的にみられ る。状況に応じて補修を行う必 要がある。
U	S	添架物	Ut	00	d	d	防食機 能の劣 化												I	塗装が剥離し、下塗りが露出し ている。状況に応じて補修を行う 必要がある。

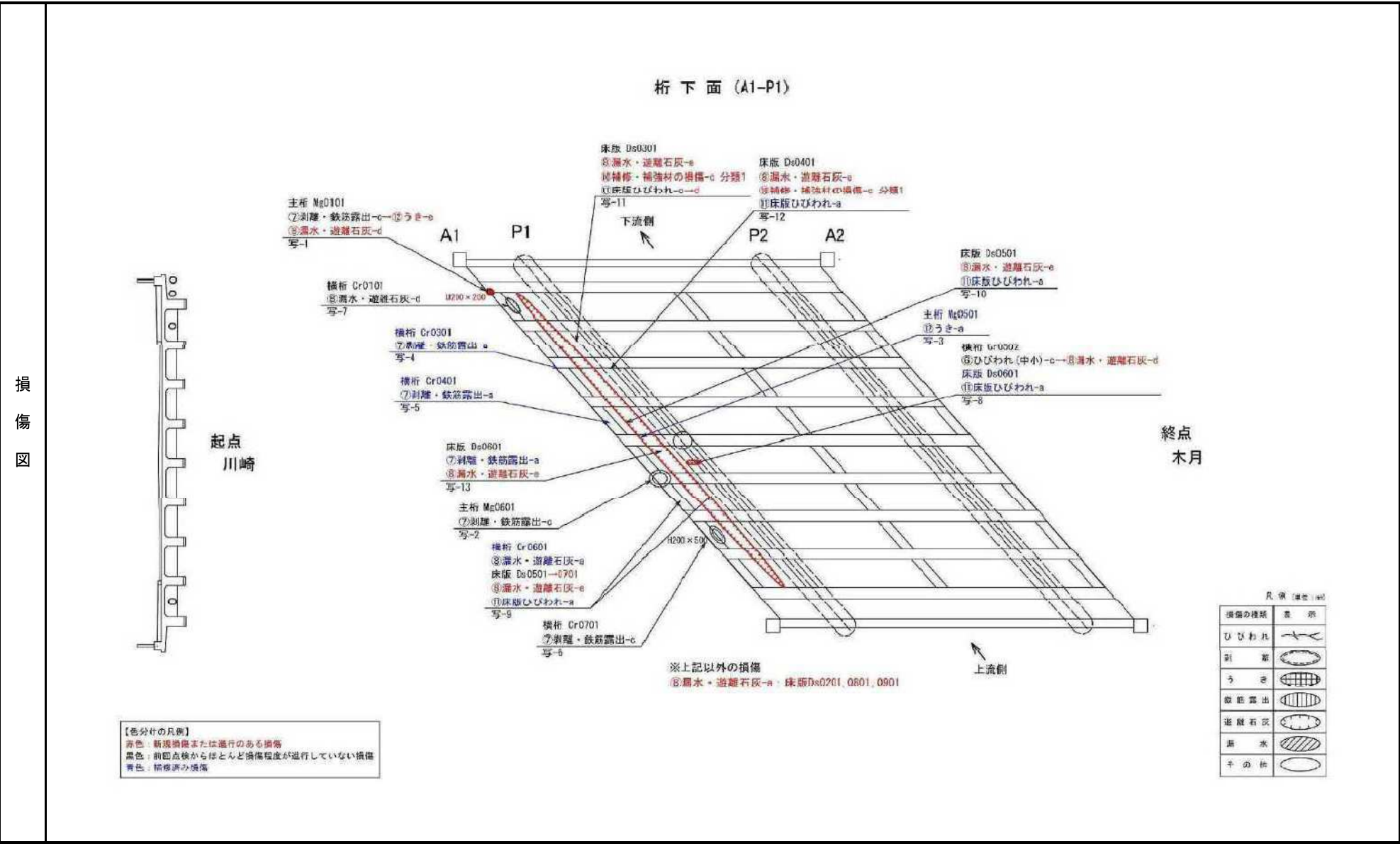
定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)				径 間 番 号	3	起点側		緯度	35° 33′ 28.1″	起点側		緯度	35° 33′ 28.3″	橋梁ID	35.55781,139.65822
								経度	139° 39′ 29.6″			経度	139° 39′ 29.1″		

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋			路 線 名	鶴見、溝の口線			管理者	川崎市中原区役所道路公園センター			橋梁コード	9	
---------------	----------------	--	--	-------	---------	--	--	-----	------------------	--	--	-------	---	--

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分E1 の損傷	更新	区分E2 の損傷	区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
R	C	地覆	Fg	00	d	d	漏水・遊 離石灰												I	ひびわれから遊離石灰が生じて いる。錆汁はほとんど見られ ない。状況に応じて補修を行 う必要がある。
R	A	舗装	Pm	00	e	e			舗装の 異常										Ⅲ	床版の劣化に伴い舗装に損傷 が現れたと推定され、橋梁構 造の安全性の観点から、速や かに補修等を行う必要がある。

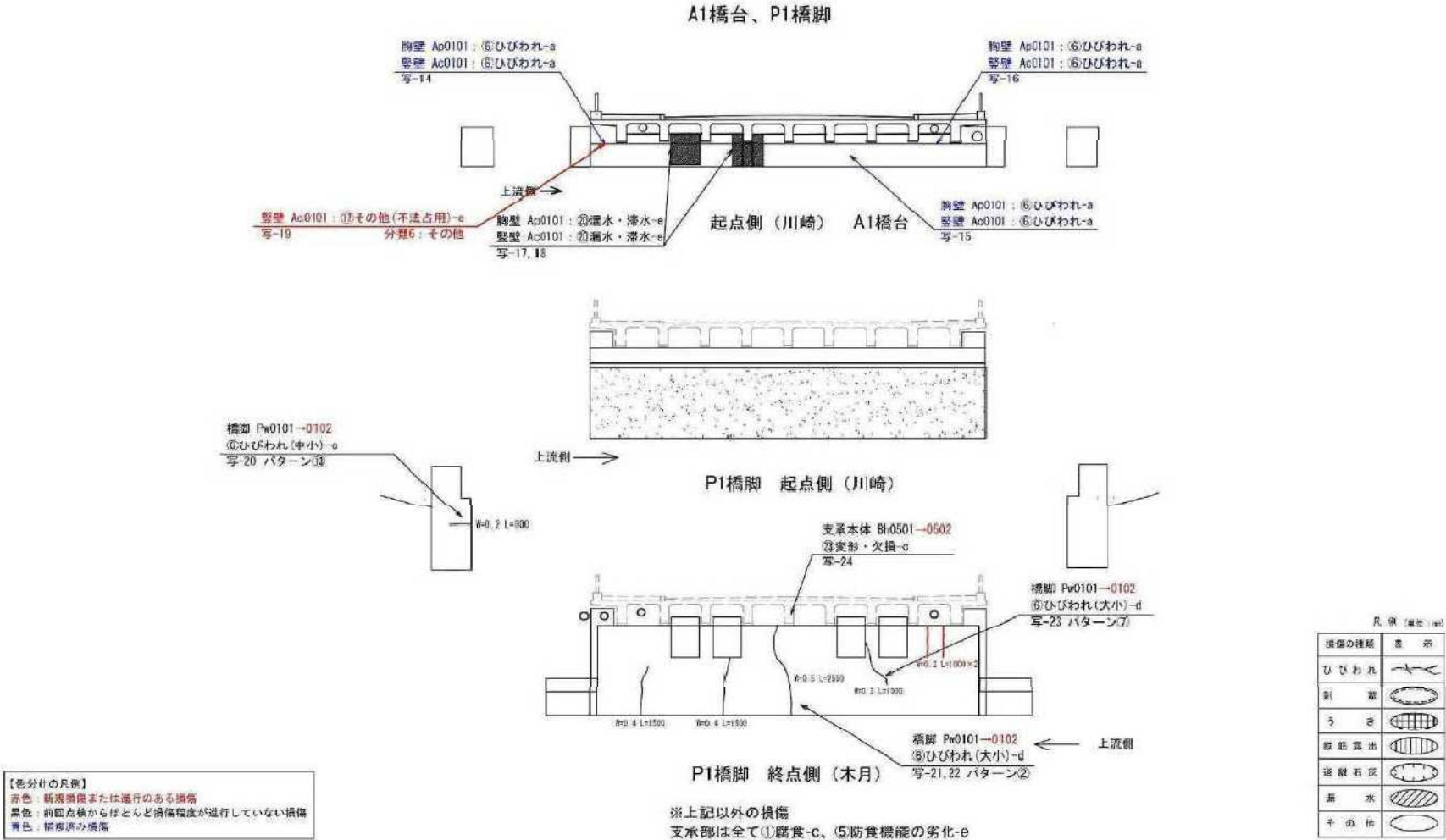
データ記録様式(その9) 損傷図			径間番号	1	起点側	緯度	35° 33' 28.1"	経度	139° 39' 29.6"	終点側	緯度	35° 33' 28.3"	経度	139° 39' 29.1"	橋梁ID	35.55781,139.65822
------------------	--	--	------	---	-----	----	---------------	----	----------------	-----	----	---------------	----	----------------	------	--------------------

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋	路 線 名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
---------------	----------------	-------	---------	-----	------------------	-------	---

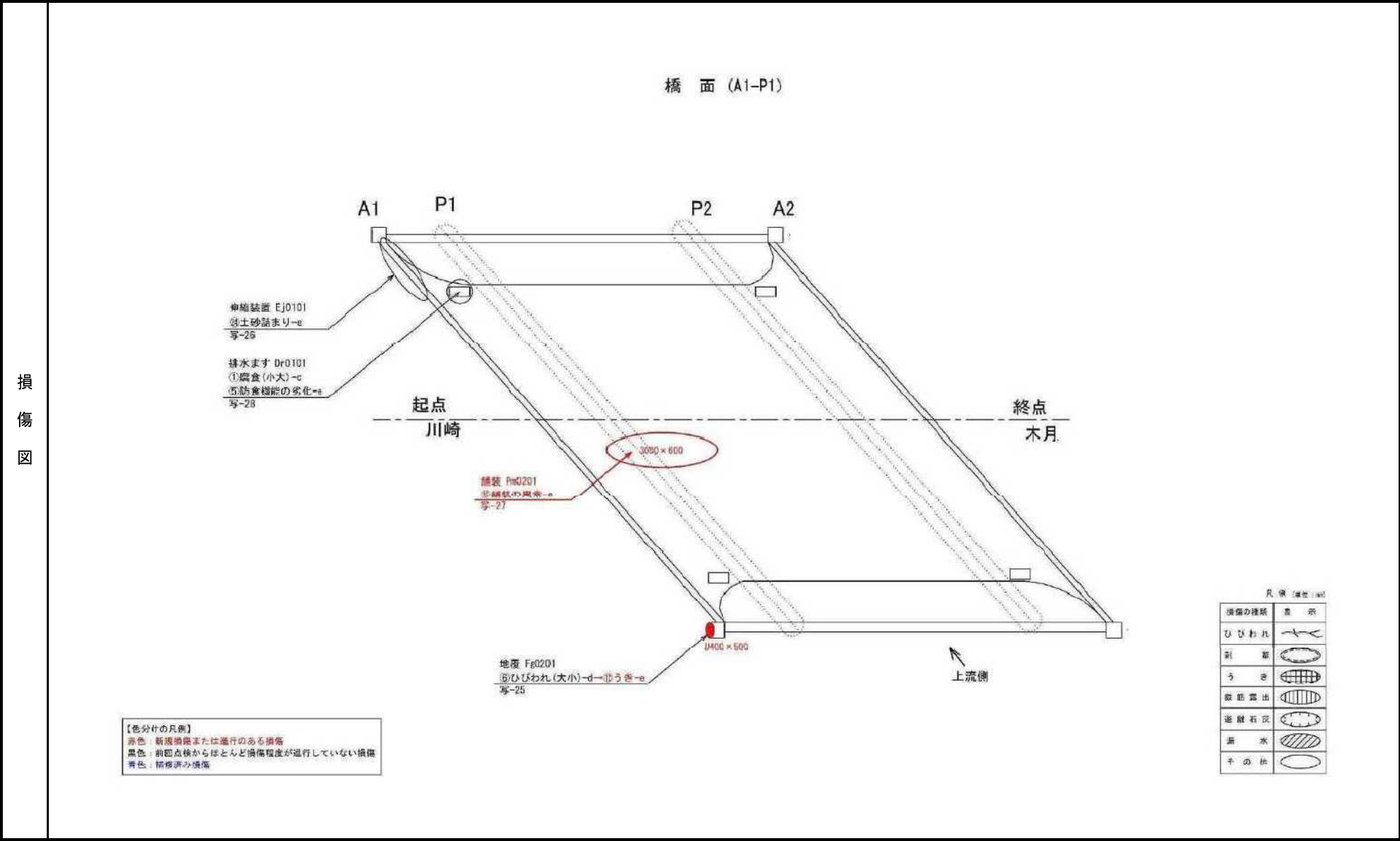


データ記録様式(その9) 損傷図			径間番号	1	起点側	緯度	35° 33' 28.1"	経度	139° 39' 29.6"	終点側	緯度	35° 33' 28.3"	経度	139° 39' 29.1"	橋梁ID	35.55781,139.65822
フリガナ 橋梁名	シャクジンバシ 石神橋	路線名	鶴見、溝の口線		管理者	川崎市中原区役所道路公園センター			橋梁コード	9						

損傷図

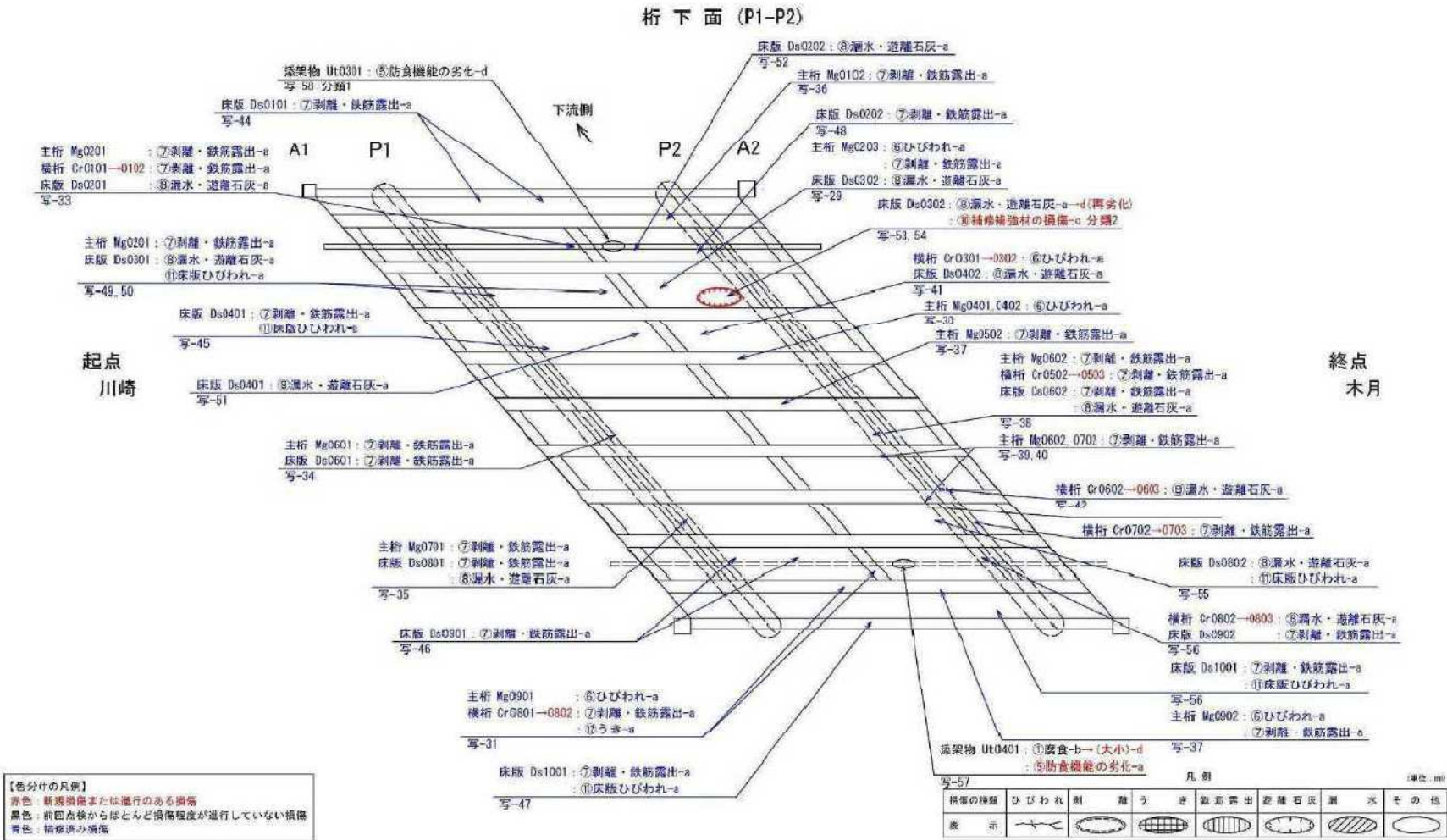


データ記録様式(その9) 損傷図			径 間 番 号		1		起 点 側		緯 度	35° 33′ 28.1″		終 点 側		緯 度	35° 33′ 28.3″		橋 梁 ID	35.55781,139.65822
									経 度	139° 39′ 29.6″				経 度	139° 39′ 29.1″			
フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋				路 線 名		鶴見、溝の口線		管 理 者		川崎市中原区役所道路公園センター				橋 梁 コード		9	



データ記録様式(その9) 損傷図	径 間 番 号	2	起点側	緯度	35° 33' 28.1"	終点側	緯度	35° 33' 28.3"	橋 梁ID	35.55781,139.65822
				経度	139° 39' 29.6"		経度	139° 39' 29.1"		

フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバン 石神橋	路 線 名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
---------------	----------------	-------	---------	-----	------------------	-------	---

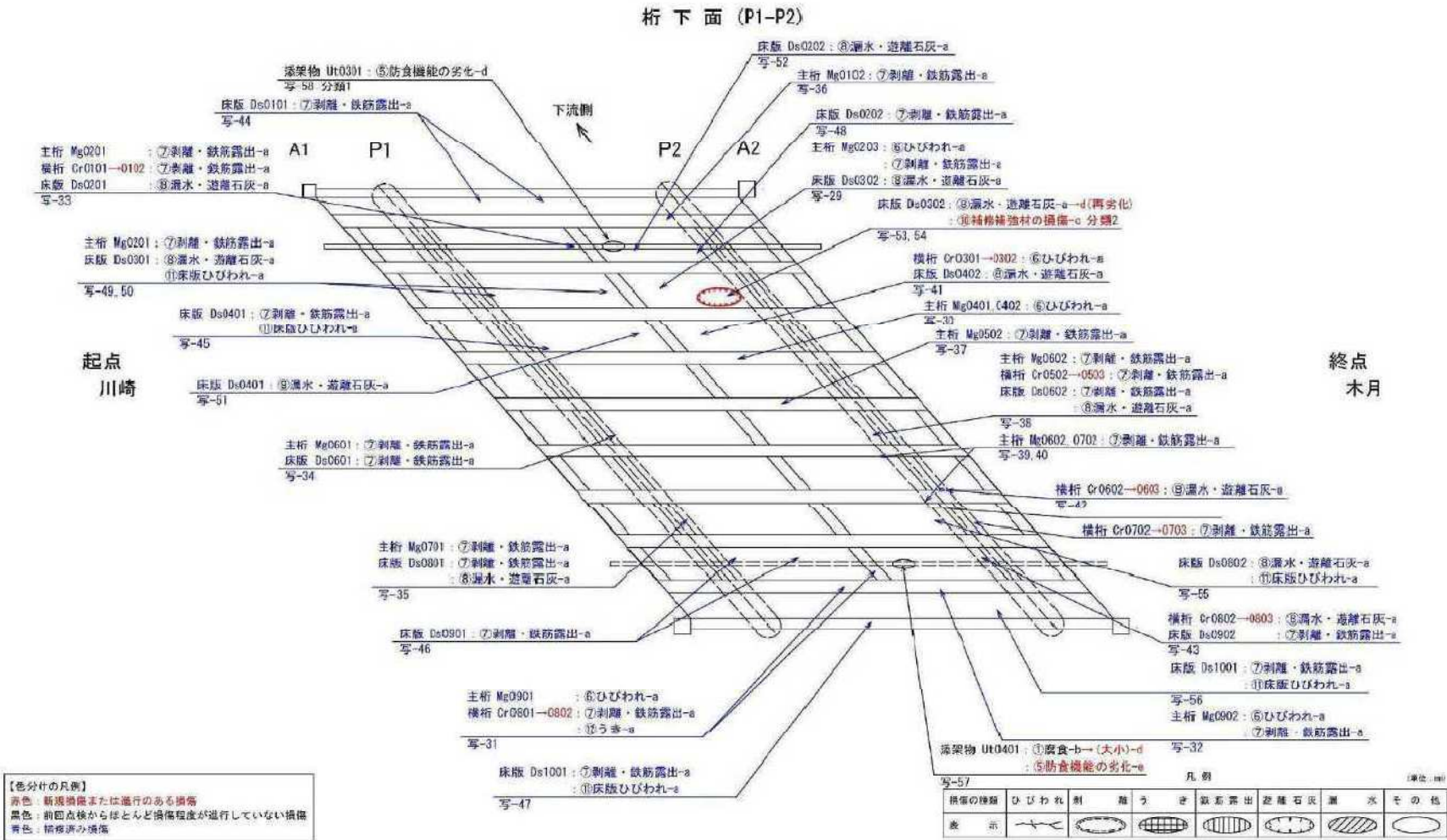


データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	2	起点側	緯度	35° 33' 28.1"	終点側	緯度	35° 33' 28.3"	橋梁ID	35.55781,139.65822
				経度	139° 39' 29.6"		経度	139° 39' 29.1"		

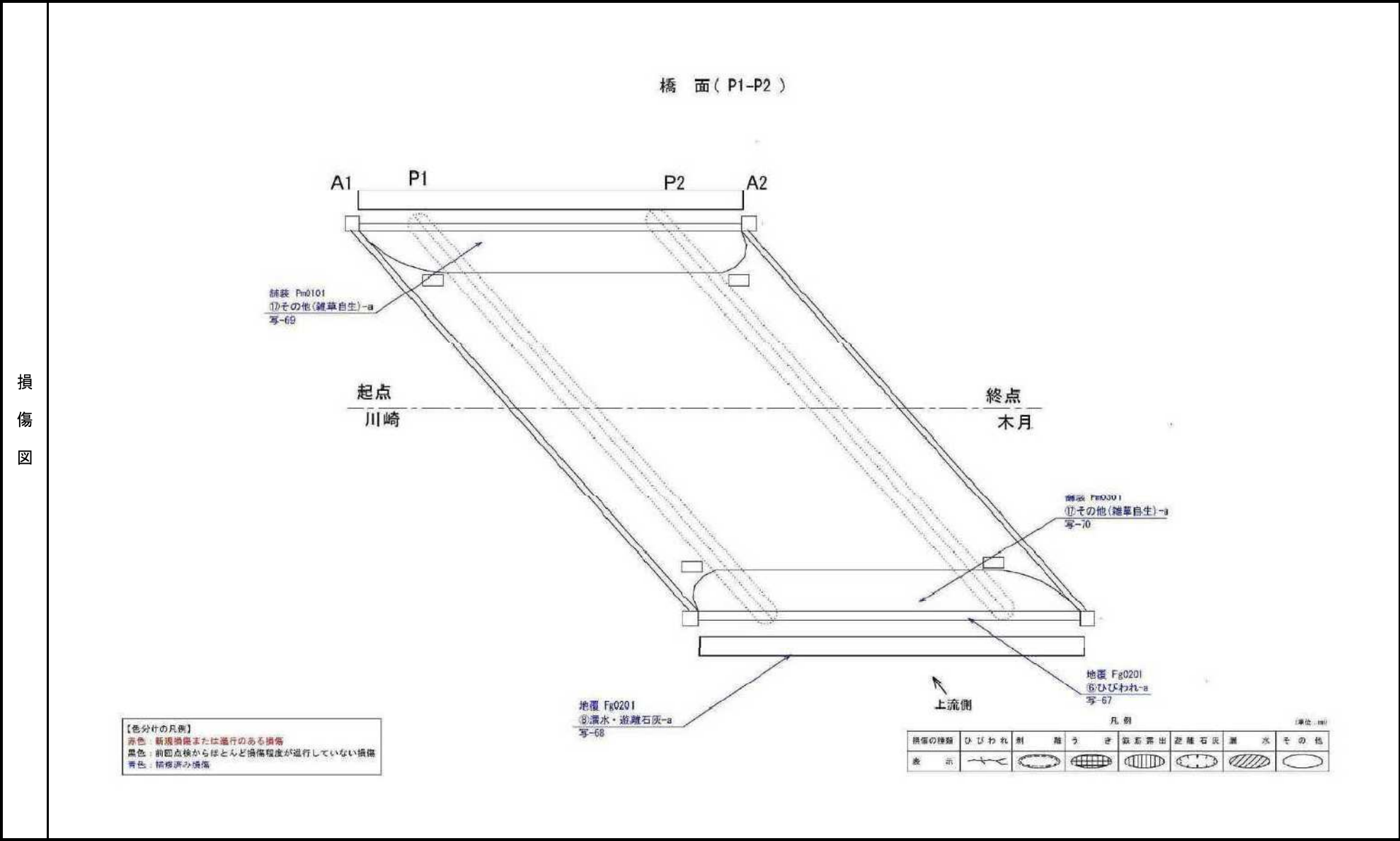
フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバン 石神橋	路 線 名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
---------------	----------------	-------	---------	-----	------------------	-------	---

3-138

損
傷
図



データ記録様式(その9) 損傷図			径 間 番 号		2		起 点 側		緯 度		35° 33′ 28.1″		終 点 側		緯 度		35° 33′ 28.3″		橋 梁 ID	35.55781,139.65822
									経 度		139° 39′ 29.6″				経 度		139° 39′ 29.1″			
フリガナ 橋 梁 名		シャクジンバシ 石神橋			路 線 名		鶴見、溝の口線			管 理 者		川崎市中原区役所道路公園センター			橋 梁 コード		9			



データ記録様式(その9) 損傷図

径間番号

3

起点側

緯度 35° 33' 28.1"
経度 139° 39' 29.6"

終点側

緯度 35° 33' 28.3"
経度 139° 39' 29.1"

橋梁ID

35.55781,139.65822

フリガナ
橋梁名シャクジンバシ
石神橋

路線名

鶴見、溝の口線

管理者

川崎市中原区役所道路公園センター

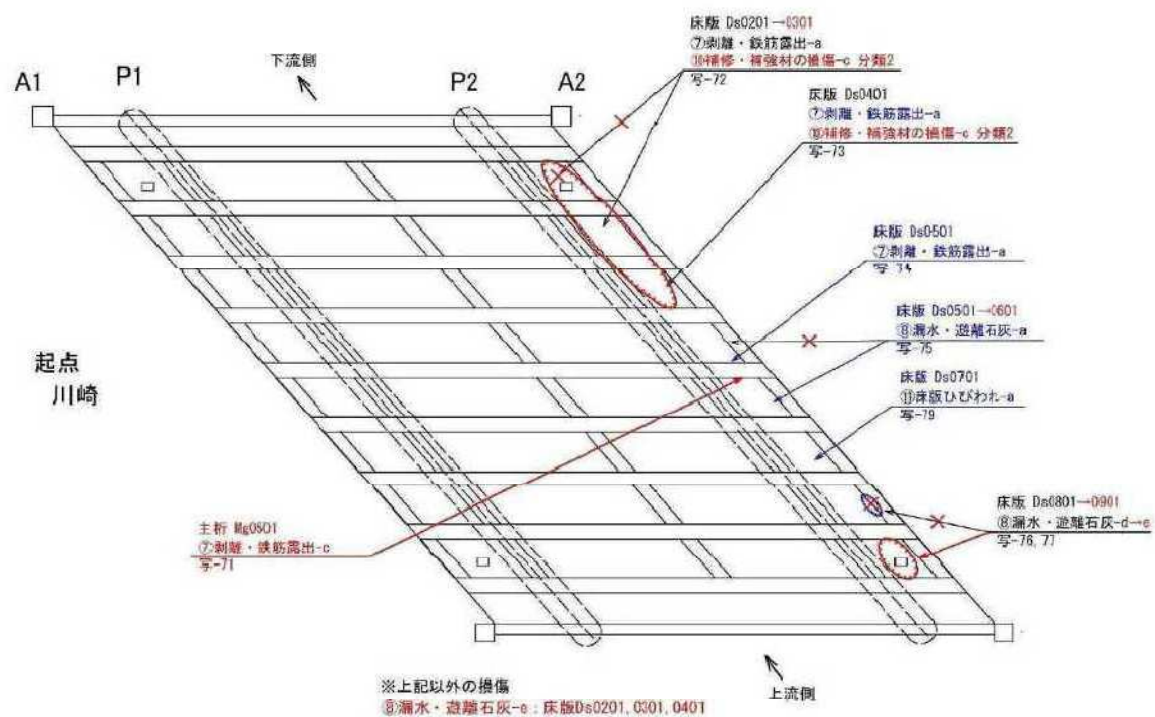
橋梁コード

9

損傷図



桁下面 (P2-A2)



【色分けの凡例】

赤色: 新規損傷または進行のある損傷
 黒色: 前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
 青色: 補修済みの損傷

凡例

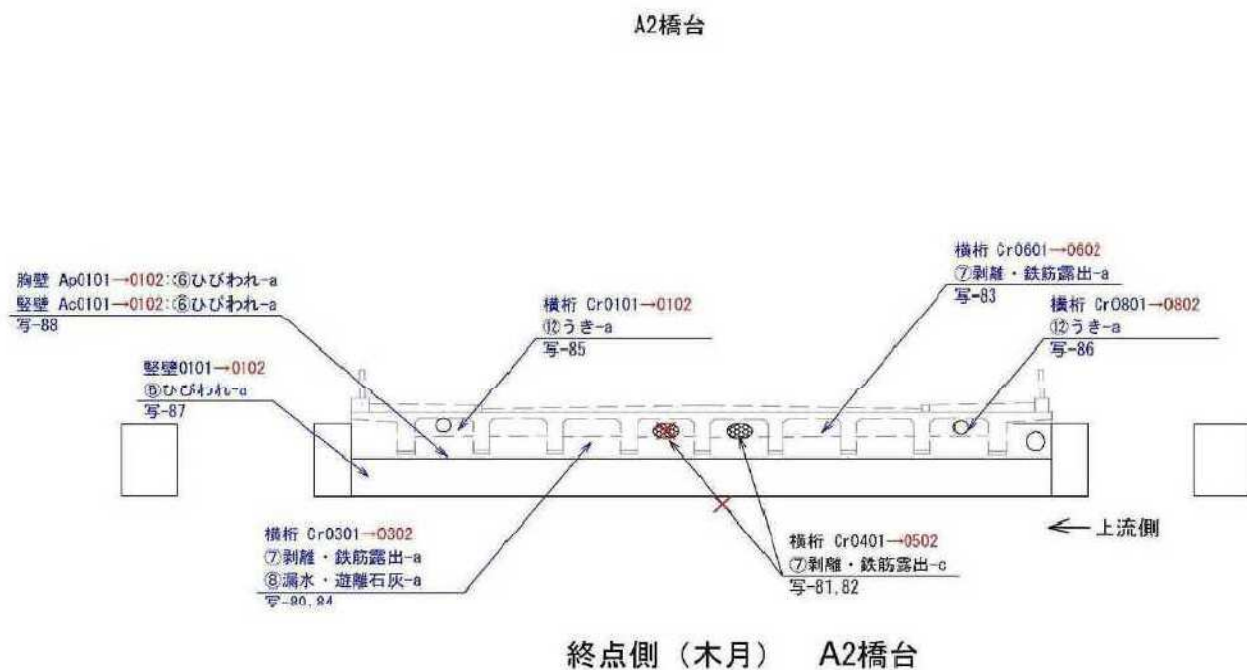
(単位: mm)

損傷の種類	ひびわれ	剥離	うき	鉄筋露出	遊離石灰	漏水	その他
表示							

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	3	起点側	緯度	35° 33' 28.1"	終点側	緯度	35° 33' 28.3"	橋梁ID	35.55781,139.65822
				経度	139° 39' 29.6"		経度	139° 39' 29.1"		

フリガナ 橋梁名	シャクジンバシ 石神橋	路線名	鶴見、溝の口線	管理者	川崎市中原区役所道路公園センター	橋梁コード	9
-------------	----------------	-----	---------	-----	------------------	-------	---

損傷図



【色分けの凡例】

赤色：新規損傷または進行のある損傷
 黒色：前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
 青色：新修済の損傷

凡例

(単位: mm)

損傷の種類	ひびわれ	剥離	うき	鉄筋露出	遊離石灰	漏水	その他
表示							

データ記録様式(その9) 損傷図		径 間 番 号		3		起 点 側		緯 度	35° 33′ 28.1″		終 点 側		緯 度	35° 33′ 28.3″		橋 梁 ID	35.55781,139.65822
								経 度	139° 39′ 29.6″				経 度	139° 39′ 29.1″			
フリガナ 橋 梁 名	シャクジンバシ 石神橋			路 線 名		鶴見、溝の口線		管 理 者		川崎市中原区役所道路公園センター			橋 梁 コード		9		

